

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	8			確保できているが、放デイとなると狭い。 道具置き場がなく、全体的に狭い。 よりスペースの有効活用ができるよう検討していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2		高年齢児が不穏になった際、身体的に対応できる者 (男性等)がいない。 求人強化をしていく。
	3	事業所の設備等について、こどもが怪我をしない よう適切に配慮がされているか	6	2		運動用具のスペースの改善の余地あり。 スペースの有効活用ができるよう検討していく。
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされている か？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収 材の取付・階段手摺など）	7	1		電灯にカバーがあると良い。 →カバーは外れやすく危険な為付けていない。 割れにくく、破片が落ちないような電灯を使用し ている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設 定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8			
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意見等を把握 し、業務改善につなげているか	8			
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホーム ページ等で公開しているか	8			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	8			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	7	1		担当ではないので分からない。 担当職員が6ヶ月に1回アセスメントを行い、計画書 を作成している。常に全職員が確認できるように なっている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントシートを使用しているか	8			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫して いるか	8			
	13	活動場面ごとに課題を決め支援しているか	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	7	1		担当ではないので分からない。 基本集団でのプログラム。個別活動に関しては自由 時間等での対応。
	15	支援開所前には職員間で打合せをし、その日行 われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	8			
	16	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その 日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有 しているか	7	1		気付いた点がある際は都度共有している。 また支援終了後ではないが、会議時にも共有してい る。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	8			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断している か	8				

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	8			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1		基本保護者からの連絡で下校時間や年間行事の確認をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1		7	受け入れがない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1		よく分からない。 →就学前の幼稚園や保育園、またサービス事業所等とは情報共有が難しい現状ではある。相談支援員さんがいらっしゃると以前の状況がわかりやすいので、なるべく相談支援員をつけていただくように保護者には話している現状。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4	2	今まで学校を卒業した利用者がいない。 該当児がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		1	1	研修の連絡は来ているが参加できていない。 連絡が来れば都度助言を受け対応している。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7		1	担当職員がペアレントプログラム講師として認定されており、保護者面談や対応を担当している。 また保護者に対しては外部へのペアトレ企画に呼びかけている。 ペアトレではないが、面談時には家庭での支援を確認し、助言している。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			
	32	個人情報に十分注意しているか	8			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	1	招待するイベントは行っていないが、三郷市内の放デイネットワークのイベント等に積極的に参加している。
	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			

非常時等の対応	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	8			
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		保護者からの連絡で対応しているが、医師の指示書などは特にない。
	40	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	8			

こどもプラス三郷中央教室 2019年